



まつもと じゅん

中区・磯子区・金沢区

松本純 まちかど政治瓦版



平成24年4月1日号
発行
かながわ
1区支部
編集長
平木 茂

4月号
2012年
No.112

松本純ホームページ 毎日更新中！ [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶ 検索キーワード「松本純」

がれき処理を、みんなで分かち合おう！ 日本人の「絆」は失われていません



がれき処理を呼びかける自民党のチラシ

東日本大震災から1年、いぜんとして被災地のがれき処理は進んでいません。がれき処理ができなければ、被災地の新たな街づくりもその出発点には立てません。被災地だけでなく、がれき処理を今、私たちみんなで分かち合おうではありませんか。

岩手・宮城・福島3県で発生したがれきは計2,252万8,000トンです。このうち現在までに最終処理されたのは宮城県で5.8%、岩手県で8.7%にすぎません。阪神・淡路大震災のとき、1年で約48%が最終処理されたのに比べると、この遅れは極めて深刻で、このままでは処理完了まで20年近くもかかってしまいます。



日本人の「絆」が試される被災地のがれき処理

がれき処理は被災自治体だけではとうていできません。全国の自治体での処理、つまり広域処理が必要なのです。当初572もの自治体ががれき処理の受け入れを表明してくれましたが、現在実際にがれきを受け入れているのは東京都など数えるほどです。

なぜでしょうか？「がれきが放射性物質に汚染されているのではないか」という受け入れ側住民の恐れです。これに市民団体の激しい反対運動が加わり、多くの自治体が受け入れたくても受け入れを断念せざるを得ないのが実情なのです。

しかし、広域処理のがれきは搬出前に放射線の測定が行われますので安全です。その費用は昨年、自民党が中心となってまとめた「がれき処理特措法」によって国がほぼ全額を負担します。民主党政権は最近、関東大震災のがれきで整備した横浜・山下公園を例に引いてがれき処理促進をアピールしていますが、あまりにも遅すぎます。この1年間有効な手を打たず、いまま掛け声だけに終始しているのです。

神奈川県黒岩祐治知事は早くからがれき受け入れを表明していました。私たち自民党は黒岩知事を支援します。他の県内自治体に対しても、それぞれの議会に「がれき処理受け入れ決議」を提案します。それが住民大多数の良識だと信じるからです。がれき受け入れ拒否を見た海外のメディアは「日本人の絆は失われた」と報じましたが、「絆」は健在です。私たちは先頭に立って、それを証明します。

いま地域で
(人・まち・出来事)

復活「ちぐさ」で野毛からジャズ文化を再発信

一般社団法人ジャズ喫茶ちぐさ・吉田衛記念館 理事長 鶴岡博さん(中区)



伝説のジャズ喫茶「ちぐさ」が3月11日、野毛仲通りに復活しました。ちぐさは故吉田衛さんが昭和8年(1933)にオープン。平成19年(2007)に閉店するまで全国のジャズファンに愛され、若き日の秋吉敏子や渡辺貞夫、日野皓正らが通って世界的プレーヤーになる感性を磨いた店として知られていました。昨年の東日本大震災がきっかけとなり、ジャズで被災地支援ができないかと、野毛の飲食店経営者や旧ちぐさの常連客でつくる「ちぐさ会」などが社団法人を設立。被災地の産品を販売したり、東北のジャズ喫茶やミュージシャンと交流する特徴を持つ店として、横浜市の震災復興空き店舗活用事業助成金を得ながら、伝説のジャズ喫茶「ちぐさ」の新規開店が実現しました。

横浜ジャズ協会理事長として「横浜ジャズプロムナード」も主宰する鶴岡博さんは「ちぐさの復活は野毛やちぐさ会の人たちの並々ならぬ努力が結集した結果」と話します。1階のジャズ喫茶に加え、2階は「ちぐさ」の歴史を伝えるギャラリー。建物全体が横浜にジャズ文化の遺伝子を植え付けてくれた吉田衛さんの記念館に。まさに日本のジャズ文化の発信地が野毛に甦りました。

松本議員の活動記録



3/3 相川文五郎氏旭日雙光章受章をお祝いする会 防犯協会への功勞が評価され、叙勲を受けられた相川文五郎さんに敬意を表します。



3/5 自民党神奈川1区支部大会・松本純後援会総会 1区支部大会が開かれ平成23年度決算・事業報告、24年度予算案・事業計画案が承認されました。



3/18 渡部近司氏の褒章受章祝賀会 選挙の推進や地方自治への貢献により、「藍綬褒章」を受章された渡部近司のご活躍をお祈りします。



3/18 親友会(菊池武久氏表彰祝賀会) 菊池武久さんが横浜商工会議所から優良産業人表彰を受けられお祝いの会が開かれました。

<2月>

- 25日●金沢区薬剤師会新春の集い
- 26日●2011かながわ薬剤師学術大会開会式
●高橋洋成氏(高橋一成氏ご長男)結婚披露宴
- 27日●神奈川県ペストコントロール協会通常総会

<3月>

- 2日●国交省京浜港湾事務所・角浩美所長来館
(地震・津波対策基本方針について)
- 4日●富岡山長昌寺芋観音堂御開帳・特別祈願会法要
●豊川稲荷大明神稲荷祭(関貞彦邸)
- 5日●自民党神奈川1区支部大会・松本純後援会総会

- 7日●厚生労働部会医療委員会・統合医療に関するプロジェクトチーム
- 9日●米国国務省日本語研修所国会見学
- 10日●松純会春の懇親会
- 11日●純真会春の親睦食卓会
●東日本大震災一周年追悼式
- 12日●けいゆう病院友の会総会
- 13日●中区三師会新春の集い
- 14日●厚生労働委員会(雇用保険法質疑・採決)
- 15日●厚生労働部会医療委員会(高齢者医療制度改正法案)
●神奈川県歯科医師連盟平成23年度第2回評議員会
- 16日●本会議(採決:雇用保険法)

みんなの声

密談?

やらせ討論?

- 「自民党はなぜ与野党協議に応じないのか?」という不満に、松本議員の答えは「事前協議は談合です」という紋切型の返事だけです。一方で自民党と民主党との間で首脳会談が行われたと報じられています。つまり松本議員が瓦版3月号に書いたのは、上から言われて口移しで返事しているのにすぎないのではないのでしょうか。
- 与野党協議についての松本議員の「答え」について私も同意しますが、自民党総裁が先頭になった「密談」や「やらせ党首討論」などの実態が明らかになりました。これは議員の「答え」とは対極にあります。旧来の自民党とまったく変わりありません。

答え

消費税増税をめぐるその後の動きは、民主党内部の混迷が深まるばかりで、政府が自らの足元を固めないまま野党に「協議」を要請していた実態が暴露されました。この瓦版が皆さまに届くころには政府は法案を国会に提出しているのでしょうか? 政府が早く法案を出していれば、この1カ月間、実のある国会論議ができたのに残念です。

「みんなの声」お寄せください ●くらしを豊かにする「政治」を感じていますか? あなたの「政治」に対する想いをお寄せください

▷メール info-matsumoto@jun.or.jp ▷グリー http://gree.jp/matsumoto_jun

▷ツイッター Twitterでjunmatsumoto411をフォローしてください!→ http://twtr.jp/user/junmatsumoto411/follow